

使い捨てプラスチック削減運動

「PLASTIC-Free チャレンジ」推進宣言



プラスチックは、その機能性や経済性から、私たちの生活に必要不可欠なものとなっている一方で、不用意に捨てられたプラスチックの一部が海へと入り込むことで、海岸の景観を損なうだけでなく、海の生き物を傷つけたり、海の生き物が間違えて食べてしまうなど、海の環境や生態系に影響を与えることが懸念されています。

このような中、G20 大阪サミットでは、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を 2050 年までにゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。

海洋プラスチックごみの削減に取り組むことは、海洋環境の保全に加え、廃棄物の減量・資源循環の推進、食（海洋資源）の安全・安心の確保や代替製品の開発促進など、様々な便益を創出することで、SDGs の達成に寄与するものです。

このような認識のもと、SDGs 未来都市である堺市では、市域における使い捨てプラスチックの過剰な利用を抑制し、必要のないプラスチックをできるだけ使用しないプラスチックフリーなライフスタイルへの転換を促すことを目的に、市民等が身近に取り組める取組として、使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Free チャレンジ」を推進しています。

同チャレンジを通じ、使い捨てプラスチック削減に向けた機運の醸成、市民等の意識の変革、行動の促進を図るとともに、自らが先導的に使い捨てプラスチック削減に取り組むことで、SDGs 及び「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の達成に貢献していくことをここに宣言します。

令和元年 7 月 25 日

堺市長

永藤英機